

日 時 令和5年11月22日(水) 18:00～
場 所 高砂市役所南庁舎5階 大会議室

出席委員	会 長	田端 和彦	委 員	松下 尚平
	副 会 長	藤村 清春	委 員	加茂 朋之
	委 員	岩見 一美	委 員	中野 哲郎
	委 員	伊東 節子	委 員	藤田 義一
	委 員	小川 博子		

欠席委員 委 員 天野 富美男

出席事務局職員

健康こども部長	藤田 将太郎
健康こども部健康文化室長	牛塚 美智子
教育部教育推進室長	福本 典子
教育部学校教育室長	矢野 仁之
健康こども部健康文化室	
文化スポーツ課長	井村 欽也
健康こども部健康文化室	
文化スポーツ課主幹	西村 直巳
文化スポーツ課職員	外3名

協議事項

- 1 開 会
- 2 あ い さ つ
- 3 委員委嘱、自己紹介
- 4 会長、副会長選出
- 5 議 題
(1) 令和5年度・令和6年度予定事業について
- 6 そ の 他
(1) 今後のスケジュール
- 7 閉 会

○司会

それでは開会の前に、本日の資料の確認をお願いいたします。

会議次第、審議会委員名簿、謡曲「高砂」の詞章、第2次高砂市文化振興基本方針令和5年度・6年度予定事業、各委員からの意見質問一覧表、第2次高砂市文化振興基本方針の冊子。以上となっております。おそろいでしょうか。

○司会

それでは定刻となりましたので、オープニングといたしまして謡曲「高砂」の全員合唱を行いたいと思います。お手元の配布資料に、謡曲「高砂」の詞章がありますのでご覧ください。皆さんご起立をお願いします。

(謡曲「高砂」合唱)

○司会

ありがとうございました。

それでは開会に先立ちまして市長から委員の皆様へ委嘱状を交付させていただきます。市長よろしくをお願いします。

(委嘱状交付)

○司会

ただいまより、令和5年度第2回高砂市文化振興審議会を開催いたします。

当審議会の公開についてですが、高砂市文化振興審議会の運営に関する規定に基づき公開とさせていただきます。本日傍聴希望者はありません。

まず、当審議会の開催にあたりまして都倉市長より挨拶を申し上げます。

○市長

改めましてこんばんは。本日は公私とも大変お忙しい中、高砂市文化振興審議会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。平素より文化行政をはじめ高砂市政にご理解ご協力いただきまして、この場を借りましてお礼を申し上げます。

さて先ほど皆様方に委員の委嘱をさせていただきました。新たな委員にも加わっていただきまして、今後2年間ご苦労をおかけいたしますが市の文化興隆のため貴重なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本市では、平成23年に高砂市文化振興条例を制定し、平成25年に高砂市文化振興基本方針を策定し、文化活動の振興と文化によるまちづくりを目指して、10年にわたり様々な施策を進めて参りました。そして、文化の持つ力をさらに多面的に発揮するため、令和5年3月に第2次高砂市文化振興基本方針を策定いたしました。

方針の理念にあります、「つむぎ つながり つくりだす 文化と共に育つまち 高砂」の実現に向け、あらゆる人が文化をつむぎ、文化によってつながるまちづくりを推進しているところでございます。

本日は第2次基本方針の令和5年度、6年度予定事業についてご審議をいただく予定でございます。委員の皆様には活発なご議論いただき、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。私からのご挨拶をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会

ありがとうございました。

次に、新しい委員の方もおられますので、各委員より自己紹介をお願いいたします。名簿の順でお願いします。

(委員紹介)

○司会

ありがとうございました。
ここで市長は、他の公務のため退席させていただきます。

(市長退席)

○司会

次に、事務局の紹介をさせていただきます。

(職員紹介)

○司会

本日の会議は、委員より欠席の申し出がありましたので、出席者9名、欠席者1名により、審議会規則第5条第2項の規定により、過半数が出席されているため、会議が成立していることをご報告いたします。

次に、会議の進行について、当審議会の議事は会長が議長として進めることになっておりますが、この度新たに委員委嘱させていただきましたので、会長、副会長が決定されるまで事務局が会議の進行を行いますので、よろしく申し上げます。

続きまして次第の4番目会長、副会長の選出を行います。会長副会長につきましては、審議会規則第4条に、審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定めるとあります。委員の皆様の中で互選によって、会長副会長のご選任をお願いしたいと思っております。自薦、他薦は問いません、いかがでしょうか。

○委員

はい、私から推薦させていただきます。

私も引き続きこの委員をさせていただくのですが、昨年度に引き続き会長に委員、副会長に委員にさせていただけたらと私は思っております。

○司会

ただいま委員から会長に委員、副会長に委員の推薦がございました。皆さんいかがでしょうか。異論がなければ拍手をもってご承認をお願いします。

(拍手)

○司会

ありがとうございます。それでは会長に就任されました委員、副会長に就任されました委員は、前の席へお願いします。

○司会

それでは、会長に就任されました会長より、一言ご挨拶をいただきたいと思います。

○会長

先ほどはご推薦ありがとうございました。皆様からあたたかい拍手をいただきまして会長に就任させていただきました。よろしく願いいたします。

市長がご挨拶のなかでおっしゃっていましたが、新しく作られましたこの第2次高砂市文化振興基本方針に基づいて、市の方で行われている各種事業についてチェックを行ったり、次年度計画について議論をするという役割を持っております。

文化政策につきましては、現在非常に注目されているところでもございますし、たまたま昨日も大学院の授業をしていてアメリカのアーティストセンターの話をしていたんですけど、地域経済の活性化ですとかコミュニティーの強化というものが、実証的研究などがあるという話をさせていただきました。文化芸術を通してのまちづくりということが、日本だけでなく海外でも注目されているというお話かと思えます。そんな観点も含めて、今日いろんなご意見を賜りながら市の方の施策に反映させていきたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○司会

ありがとうございました。

続きまして副会長に就任されました、副会長より一言ご挨拶をお願いします。

○副会長

文化連盟の会長をしていて、自分の持てる力として高砂市の文化の推進を具体的に図れたらうれしいと思っっているいろんなことを考えながら進めています。高砂市が文化の面からも発展するように、ともに頑張っていきたいと思えます。よろしくをお願いします。

○司会

ありがとうございました。

それでは議題へ移りたいと思えます。会議録作成のため、発言の際はマイクをご利用いただき、お名前を名乗っていただき発言をお願いいたします。

今後の議事の進行は、会長にお譲りしたいと思えますよろしくをお願いします。

○会長

はい、そうしましたら私の方で進行させていただきます。円滑な議事進行にご協力のほどよろしくをお願いいたします。まず皆様にお願ひでございますけれど、先ほど事務局からございましたようにマイクが来たときにご発言をお願いいたします。

それでは議題でございます。令和5年度・6年度予定事業について事務局からご説明いただくのですが、初めてこの会に参加された委員の方もおられますのでどうしてもご質問もあろうかと思えますが、ご説明を全部聞いた後にご質問の時間を設けますので、少しお時間いただければと思えます。

そうしましたら、事務局の方から資料1にあります第2次高砂市文化振興基本方針令和5年度・6年度予定事業について、ご説明のほどよろしくをお願いいたします。

○事務局

事務局でございます。議題の(1)令和5年度・6年度予定事業につきまして、ご説明いたします。資料1の「第2次高砂市文化振興基本方針令和5年度・6年度予定事業」をご参照ください。

まず、資料1の表の見方をご説明いたします。お手元の第2次高砂市文化振興基本方針の冊子をご参照ください。方針理念について22ページから23ページにお示ししており、続いて24ページから25ページに4つの基本目標を記載しております。

資料1の令和5年度・6年度予定事業につきましては、冊子の26ページから32ページに記載しております具体的な取り組みに基づきまして、各施策を進めており、左端の事業番号につきましては、前3桁が、冊子の基本目標、施策、取り組みを示しており、ハイフンのあと2桁が枝番となっております。

また、各年度の項目欄の一番右に情報発信の方法を記載しております。こちらは、第1次基本方針の期間中に課題とされた情報発信のあり方に対応したものでございます。

少し見えづらいですが各事業の変更点につきましては、その内容を網掛けしております。

それでは、主なものを1ページから順番にご説明いたします。

まず、1ページ、111-01、「高砂学」につきまして、高砂の歴史や文化について学ぶ機会を設けることを目的として取り組んでおります。資料2の各委員からの意見・質問一覧表の1ページ番号1のとおり、委員から事業のご提案をいただいております。高砂の偉人の一生の紹介や、歴史の旅バスツアー、高砂工場バスツアーですが、次年度以降の事業として検討させていただきます。

また、同じく資料2、3ページの番号3のとおり、委員からご意見をいただいておりますとおり、竜山石の情報発信につきましても、引き続いて取り組んでまいりたいと考えております。

次に111-08、市民ギャラリー「あいぽっと」の活用でございます。各団体等の活動発表や展示の場として活用するとともに、今年度の7月から文化連盟各加盟団体にご協力いた

きまして毎月1回のコンサートを開催しております。次年度以降については、資料2の2ページ番号4の委員の意見のとおり公募制にて月1回のコンサート実施を調整いたします。

資料1に戻っていただきまして3ページ、111-23、工楽松右衛門旧宅運管理事業でございます。こちらは、資料2の番号5のとおり委員からご意見をいただいております。令和5年9月末までの今年度上半期の来館者数は11,923人と目標を上回っており、今後も特別展や地域イベントの開催など、多様なニーズに応えられるよう指定管理者とともに管理運営を進めていくとのことです。

工楽松右衛門旧宅に係る事業につきましては、5ページ、事業番号121-05の講座・体験学習事業のワークショップ実施につきましても、引き続き取り組みを進めるとのことです。

4ページ112-05、文化会館の施設整備につきましては、先月、中ホールの展示用スポットライト5台を更新いたしました。作品展示などに利用いただきやすい環境となっております。

資料1、6ページ122-08、申義堂の活用でございます。こちらは、一般公開するとともに、今年度からは琴などの邦楽ワークショップに活用いただいております。

資料2、2ページの番号2のご質問にもありますとおり、トイレが設置されておりませんが、必要に応じて近隣施設を利用いただいております。

9ページ131-31、自然観察会でございますが、事業内容を見直し、ネイチャーゲームを通して見る・聞く・触るなど自然を体験する内容を実施するとのことです。

13ページ211-03、文化まつり事業でございます。令和6年度は高砂市制70周年であることから、各団体にて記念事業の実施を検討されております。詳細につきましては次年度の第1回文化振興審議会にてご報告させていただきたいと考えております。

同じく13ページ211-10、市民提案型地域協働推進事業「夢の代」補助金でございます。こちらにつきましても、次年度は市制施行70周年記念事業として、対象事業の増を検討しているとのことでございます。

14ページ、221-21東播磨文化団体連合会事業でございます。先日、11月5日に高砂市文化会館大ホールにて、東はりまコーラス大会を実施いたしました。東播磨、北播磨で活動している13団体から309名に出演いただきました。総来場者数は、約500名でした。

最後に39ページ412-20、出前講座の開催でございます。こちらは高砂市の文化を知っていただく機会の提供を目的といたしまして、次年度から市の出前講座で実施を予定しているものでございます。

資料1につきましても、簡単ですが説明は以上でございます。

また、前回の審議会にて委員の皆様からご意見をいただきました、各課へのフィードバックといたしまして、第1回文化振興審議会における意見等を取りまとめたものを、10月5日に各課へ送付し、内容を共有いたしております。

説明は以上です、よろしく申し上げます。

○会長

はい、どうもありがとうございました。

事前にもう皆様のお手元に資料は送付させていただいておりますので、ご覧いただいているかと思っております。またなかなか字が小さいので読みにくいところがあったり、どうしても事務事業ベースで動いていますので、いわゆる再掲、同じ事業が何ヶ所も出てきて読みにくいところがあるかとは思いますが、網羅したこのような資料を提供させていただいております。

事前に委員と委員の方からご意見をいただいておりますものを今日共有させていただいております。先ほどご説明の中でもご紹介をさせていただいているところでございます。

ここからはそれぞれ皆様の方から挙手の上、ご意見をいただきたいと思っております。できれば事業番号で何番か、ページ番号でも結構ですので、どこに注目してご発言いただいているのかということをおっしゃっていただくと大変フォローしやすいと思っております。先ほど触れていただきましたが、8月31日に第1回の審議会を行いまして、その際出てきた意見をフィードバックするというのは結構委員の皆様から出てきたところです。担当課が多岐にわたりますので、こういう事業というのは文化に限らずどうしても市民生活に直接関わることも多いですし教育にも関わって参りますので、それぞれ担当課が書かれているのはそういうこ

とがわかるようになっておりますので、皆様のご意見をできればダイレクトに担当課に伝えたいと思いますので、先ほど申し上げました事業番号ないしはページ番号をおっしゃっていただくと、大変フィードバックがしやすいと思いますのでご協力をお願いしたいと思います。

それではどうぞ、挙手の上ご発言いただきたいと思いますがいかがでしょうか。何かお気づきの点、またご質問でも結構です。まだ令和6年度事業予定ですから、これから予算審議に入っていくので、もしかしたら本日の意見をもとに変わる可能性もありますね。ここはもうちょっと頑張るといふ応援でも結構かと思っておりますのでよろしく願いいたします。委員、いかがですか。

○委員

資料2の6番で、委員から竜山石の発信に関して意見をいただいているのですが、それについて、資料1の39ページの高砂ブランド商品とか名産品というところ。商工会議所といたしまして、委員といろいろ高砂の名産品をつくれないうこと、今取り組んでいまして今日持ってきました。この中でゴルフをされる方はあまりいませんかね。これは竜山石で作られています。全国を調べたら、日本で一つもありません。

ちょっとまわしてもらえますか、これは竜山石で作ったゴルフのマーカーです。これ、普通はプラスチックで作ってあるのですが、これを竜山石で作ったら面白いじゃないかというところでいろいろ調べたら、石のマーカーってどこにもないんです。これをいろいろやってですね、今ちょっと走り出したところですけども、結構企業の方からノベルティにできるのではないかとということでいろんなことで、引き合いもいただいています。

ただちょっと残念なのは、素人が考えたのでデザイン的にどこまでやれるかということが非常に難しく、我々のデザインの方ってというのはこんなもんかなという部分もあったので、こういうことをまた文化の方でいろいろ皆さんの協力いただけましたら、もっといいものにできるんじゃないかな思っております。

それともう一つ、委員にもお願いなんですけどマーケティングが非常に難しいというふうに思っておりますので、このマーケティングもいろいろ助けていただけたらと思います。これが高砂の名産品、特産品になれば面白いなということでいろいろ考えています。

供給をもうちょっとうまくやれば、市長の方にも説明したんですけど、ふるさと納税なんかにも使えるんじゃないかなということで今これを考えておりますので、またぜひ皆さんもし、こうしたらどうだとかこういうのがあるということがありましたら提案いただけたら助かります。

いろんなことでこういうふうに今、高砂商工会議所の方では、委員と協力してこんなことを考えております。以上です。

○会長

どうもありがとうございました。先ほどデザインというお話もありましたけどもやはり高砂で売り出す以上はジャズなどの、そうしたストーリー性を反映されたものですね。

委員、プラスアルファ説明いただけたらと思いますが、お願いしてもよろしいですか。

○委員

委員から説明がありましたように、地元を盛り上げる、元気にするということで商工会議所に竜山石に目を止めていただきまして、今商品開発の方を共同でさせていただいております。

いろんなものに竜山石が使われていて、私は竜山石をテーマに掲げているところで話をさせていただいている中で、この竜山石を通していろんなところで動かさせていただいていますが、なかなか皆さん地元の方ほど当たり前の景色、風景すぎて竜山石のことをご存知でない方がとてもたくさんおられます。

それにちょっと感じるものがあつたので、いろんなところで文化スポーツ課さんにも大変ご協力いただきながら竜山石を広めていただいておりますけど、そういう意味では本当にみんなが胸を張って自慢できる高砂市の特産品ではないかと私は思っておりますので、皆様の方でも高砂には竜山石があるんだよっていうところを広く広めていただければ私はうれしいな思っております。

○委員

これは石で、廃棄するものを使っているのです、SDGsにも繋がると思っております。三菱重工からは、一応こんなデザインはどうだろうというのは引き合いが来ています。サントリーさんも非常に興味を示してくれていますので、こういうので広めていければというふうに思っております。以上です。

○会長

どうもありがとうございました。ちなみに先ほどゴルフのこれは消耗品みたいなものなんですか。

○委員

最近海洋プラスチック問題があって、農地とかに使われてるプラスチック製品が結局海の方に流れていて、できるだけもう置いていくものはプラスチックはやめましょうということで。

○会長

もともとこれプラスチックのものを代替していくっていうのは、さっき最後におっしゃったSDGsとも関わるのかなと思ってちょっとお聞きしました。

○委員

それともう一つ言うと、これ石の宝殿という名前なのでお金になるかなと。それとプラス、パワーストーンなのでこれでマーカーを置いてパターンしたら絶対入るということもあるのかなと、そういうふうに思っておりますので、ぜひこういうことで広めていきたいと思っております。ぜひマーケティングの手助けをお願いします。

○会長

ありがとうございました。委員どうぞ。

○副会長

竜山石の件で、この間高砂市文化連盟のロゴマークを一般公募していたんですよ。その時に、表彰状は竜山石製でデザインも考えさせてもらったりしたんです。そうしたら、受賞者の方がものすごく喜ばれてね。だって、今まではペーパーだったのが竜山石になってますからね。だから、来年高砂市制70周年の記念行事が7月1日にあるんですけど、できるだけ竜山石で表彰状を作ってはどうか。

○会長

ありがとうございます。竜山石ということで文化、地域経済の活性にも役立つというのは先ほど申し上げたんですが、文化を活用しようというのは日本の政府の方針でもございますので、まずそういった一つの事例として高砂における竜山石の活用をしていってほしいと思います。

今回の事業を見ていただいたらわかりますが、結構そういった観光事業ですとかシティプロモーションが関わってる事業が結構多く挙がっていて、それに予算をつけていただいているので、おそらくその考え方そのものの方針を持ってらっしゃると思います。委員から、そうした事を後押しするようなご意見と、それから竜山石で今こういう加工品もあるというアピールもあったということで、ご了解いただければと思います。

よろしいでしょうか。

○委員

日本商工会議所に対して補助金を申請しまして、今一次審査を通っているということで、一次審査に通って後に面接がありますが、私の考えでは落ちることないかなというふうに思っ

おりますので、かなりの金額いただけるみたいなので、またいただけたら、もうちょっと供給体制がよくなるかなと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○会長

他にいかがでしょうか何かご意見或いはご質問でも結構かと思えます。委員、いかがですか。

○委員

マーカーとして使う竜山石ですね、あれはマーカーを置いてきて今度自分の番だとそのマーカーを探すのに苦勞するんじゃないですか。色としてですね。自然の石を使ってらっしゃると思いますけれども、色はつけないんですね。これは普通のゴルフとか、それからグラウンドゴルフとかにも使えるんですよ。マーカーとして使う分にその色を塗ったらいいと私は思うんですけど。だけど、それが石の値打ちがなくなるような気がするんです。

今、ゴルフグラウンドゴルフ人口がすごく多いんですよ。

○委員

自然の石を使っていますが、色はつきます。ゴルフ以外のことにも発展できると思います。

○委員

宣伝が難しいですよ。それができたらすごくいいと思います。

○会長

ありがとうございます。

マーケティングでいうと、どういうセグメンテーションをするのかっていうところの議論だと思います。

○副会長

デザインのことを言われましたけども、うちの文化連盟で美術協会があるんですよ。そこにアドバイスを求められても面白いかもしれませんね。コラボっていうことになりますけど。私、必要でしたらつなぎますので。

○委員

石に乗る色というのがあるのでそれがちょっと難しいところですね。やっぱり石の素材の色がそもそもあるので、それに乗る色というんですかね、その辺がちょっと難しいように感じます。

○会長

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。どのようにこういう活動をもっと後押ししたいというのでも結構かと思えます。まだこれから予算を作っていく段階ですので、そういうことがあればお願いしたいのですがいかがでしょう。特によろしいですか。

私から少し確認ですけれど、先ほど申義堂のお話があったんですが、6 ページの 122-08 です。非常に重要なところなんですけど、100 万円ほどの経費を今かけているわけですが、これ自身はいわゆるソフト事業ということでよろしいのかどうか。つまり、ハード的な整備をされるのかどうかの確認です。

それから、7 ページ、131-09 とか、131-08 とかもそうですが、幼児保育課とか学校教育課というところで、予算が書いていないのは、例えば他で全部何か含めての予算に入ってるために予算が書けないのか、つまりゼロではないのでこのような書き方になってるのか。それとも、もちろん幼児保育課であればおそらくこのあたり、単独事業でこれやってらっしゃるわけではないと思うので、なかなか書きにくいのかなと思うんですけど、そういう表記の仕方ですね。この辺りをしっかりと教えていただけないかなというふうに思えます。

それから 8 ページの 131-14 で、子ども会将棋大会で廃止になっていて、これ消し線が入っていますよね、それは何か意味があるのかどうか。つまり、これは令和 6 年で廃止じゃなく、

令和5年で廃止になったという意味なのかそれとも令和6年廃止で線を引いたのか。他に廃止している事業があるんですが、もしかしたらミスなのかもしれないですけどそういうところですね。でも同じ廃止のことなんですが、2ページの公民館まつりが廃止になってるんですが、おそらく令和6年度から廃止だとは思いますが、これは廃止に伴う代替措置のようなものがあるのかどうか。公民館事業ですから、社会教育の観点だと思いますので代替措置をとられるのかどうかというのがちょっと気になりました。

あと、個人的に興味深いと思ったのが3ページの111-21で、この映画の部分でいわゆるフィルムコミッションのような事業になるのかどうかということで、これ予算がついてないので具体的にどういうことをされるのかちょっとわからなかったので教えてほしいなと思いました。

それから同じように具体的な内容を聞きたいのが9ページの131-28の青少年健全育成事業ということで、この異世代交流ということで、文化活動を通して異年齢交流するっていうことは非常に面白いんですけど、具体的に予算260万円についているということもありますので、これ、教育ではなくて生涯学習なので、考え方としてはもしかすると高齢者の比較的シニアの方が、青少年を指導するようなイメージなのかもしれませんけれども、このあたりちょっと具体的な内容をいただけないかと思っております。

それから15ページの212-05、或いは212-06もそうですけれども、これは全部の学校が対象ということでよろしいでしょうかという確認です。小中学校において芸術鑑賞会、教育美術展を行うとか書いてあるんですが、これは全部の学校を対象としてるのかという確認です。

それから、これも学校関係で21ページの222-15で、学校クラブ活動への指導者招聘ということで、これは外部講師に委託するというので、非常にいいんですけど例えば美術とか音楽とかいわゆる文化活動に限定される予算を書かれてるのか、それとも例えば体育会系といいますか別にあるのかもしれませんが、文化振興なので文化活動に限定されているのかどうかという確認です。

それから、28ページの311-14です。これは市史編さんになるんですかね、資料収集ということで、この辺りは継続的にされていると思うんですが先ほど70周年ということで何か特別なことをされるのかなと思ってお聞きしたいと思います。

先ほど委員からご紹介いただいた中で、ふるさと納税の話があったんですが例えば331-19、32ページですね。寄付者に対して高砂ブランドの記念品を贈呈するとありますが、これはふるさと納税の意味でよかったのか確認事項ですがお願いしたいと思います。

いろいろ細かいこと聞いて申し訳ないですが、教えていただければ助かります。

○事務局

事務局でございます。

まず申義堂のところですけど、事業として記載させていただいてるのはソフト事業になります。土曜日、日曜日に申義堂を開けておるんですけど、開けている時間を活用しまして当時寺子屋でしたので、そこで当時学ばれていたような内容のものを実施する形で対応を進めております。

次ページの公民館のところですけど、111-15ですね。こちらにつきましては、令和6年度から地域交流センター化ということで、一部機能が変化する形になりますので、公民館まつりとしては廃止ということですが、実際の利用方法等については引き続きという形で聞いておりますので、この事業が全くなくなるという話はこちらに今聞いておりませんので、公民館まつりとしては廃止ということで記載した形になります。

続いて3ページ111-21ですけど、映像を通して以前映画のそういうインフォメーション等があったんですけど、ちょっと活動が低調になっているのをまた再開をさせようというところで図っているものになります。

7ページ131-09や131-10ですけど、これは小中学校やこども園での活動の中で、こういうところに取り込むということになりますので、予算としてはいくらというような形では示せていないということになります。

続いて8ページの131-14の子ども会将棋大会は、線が入ってるのがどういうところは、また確認をさせていただいて回答をさせていただきたいと思います。

9ページ131-28の青少年健全育成事業の文化活動を通して青少年の異世代交流を行うという

ところですけど、青少年の健全育成としまして、各地区でいろんなイベントの方を行ってありまして、その中で異世代交流を交えた形でイベントをそれぞれで行っているような状況で、具体的にというところは私の方で把握はできていないですけども、自発的にイベントの方を行っていただいているところです。

続きまして 15 ページの 212-05、212-06 については各学校で実施をしている事業になります。まず、05 の方の芸術鑑賞会、教育美術展、音楽会ということで芸術鑑賞会につきましては、コロナの状況下においては、なかなか実施できなかったんですけども with コロナの状況になってまいりまして、芸術鑑賞会を実施している小学校、中学校も少しずつ出てきております。今把握しているのは小学校 2 校、中学校につきましてはわくわくオーケストラがありますので、全学校の中学一年生の生徒が、本物のオーケストラに触れる機会を与えております。教育美術展というのは毎年冬に美術展を開催しておりまして、小中学生の作品を一堂に集め、文化会館の中ホールの方で実施しているところです。音楽会ですけども小学校の方で今年も全校実施しております。今日実施している学校もあるんですけども、明日もまた実施するというような形でちょうど今、この時期に小学校は音楽会を実施しているところです。06 の方の合唱コンクールにつきましては、大体 10 月の後半もしくは 11 月 1 日に中学校の方は、すべての学校で合唱コンクールを実施しております。合唱以外に有志でパフォーマンスをする学校ですとか、吹奏楽のステージですとか、有志がダンスや劇コント、英語劇をやる学校もありまして結構生徒たち頑張っている状況です。

続きまして 21 ページ 222-15 のことについて学校教育室よりお話させていただきます。学校のクラブ活動への指導者招聘ですけど、部活動外部講師を派遣しております。専門的な指導力を持った外部講師ということで、華道部、茶道部というところで文化面については、そこで専門の先生に来ていただいてお手伝いをいただいています。運動部につきましても、例えばバスケットボール、水泳、ハンドボール、剣道、いろいろその専門性を生かして学校の部活動の指導にお力をいただいている方もおります。ですので文化面、体育面両方で来ていただいているというところで、記載の額は文化面、体育面の両方合わせた額でございます。

331-19 につきましては、ふるさと納税ということで高砂のブランド品を納税いただいた方に贈呈している形になります。

○会長

はい、ありがとうございます。すいません細かいことで申し訳ないですけど、基本的には入ってきたお金の半分しか出せないの、4 億円ぐらいふるさと納税があつてお金を取っておられるということで、逆に 2 億円はそんなに使うかという先ほど委員がおっしゃっていただいたように、高砂市の産業振興にも役立つようなものということだと思えます。

他いかがでしょうか、委員お願いします。

○委員

先ほどの、331-19 のブランド品ってということとか。それから 37 ページ 411-03 からの市内、市内外に発信することで高砂市を PR するとか、それから、411-06 の高砂の物産品の PR を図るとか、その下の 07 の魅力を市内外の方に周知し移住定住の促進を図るとか。次の 39 ページの 412-18 というところで、ロケ地として誘致することにより高砂市の魅力を全国に発信するとか。こういう魅力とか発信するとかは書いてあるんですが、何をどのように発信するんだろうとか、高砂市の魅力っていうのは、何を魅力としているのかなというのは、先ほど竜山石のことで商工会議所の委員、委員の方から全面に売り出していこうというような具体的な動きを考えておられるんですけど、確かに竜山石っていうのは、お城のところで全国の城下町の竜山石も出てきますよね。本当にいろんなところで活用されている、また加工しやすいということでもあるというふうには聞いておるんですけど高砂の魅力を発信すべきだということは、私も前回表現させていただきましたが、何をもちょう高砂市として魅力や特産物を発信していくかというのを共通理解したいというか、どういう PR をしていこうとされているのかを、少し具体的に聞かせていただけたらなと思えます。以上です。

○会長

確か委員からは謡曲「高砂」について前回お話をされたと思いますが、当然こういうふうに行政事業、事務事業として書かれてる以上は、やはり何をどこへというのは多分考えられてると思いますので、お答えのできる範囲で結構でございますのでよろしくお願ひいたします。

○事務局

事務局でございます。委員からお話ありました情報発信の件につきましては、従来から高砂市は情報発信があまりうまくないというようなご意見もいただいております。シティプロモーション室が担当している事業が多いですけれど、まずは働いてる職員も情報発信について努めていかないといけないということで、先月職員対象にも研修等を行っております。まずは情報発信については一足飛びにすべてうまくいくところまではいかないというふうに考えておりますので、まずは少しずつ職員の意識も変えていく必要があるのではないかなと思います。文化につきましては生活に根差しているものですので、まず暮らしている方に高砂市が魅力のある地域でないとなかなか外に向かっても発信ができないのではないかとというふうに考えておりますので、文化を担当します行政の職員としまして、そこのところを少しずつ進めていければなというところでは考えております。

○委員

この冊子の方、前回のアンケートがまとめられているところで、高砂市の自慢したいところというアンケート結果がありましたよね。たくさんあるんですけども、行政としてどれをメインにして売り出していこうとしているのか考えを聞かせていただきたいです。考えておられるんだったらプロデューサー、テレビ局の方とか、そういうプロダクションの方に訴えていこうとする案があって初めてPRしていきますという計画が出てくると思うんです。だから、改善していくとか市民の意見を聞くとかで変更していくのは当然だと思うんですけど、今計画を立てておられてまず高砂の魅力はこうだろうという形の案があるはずじゃないかなと思うんです。そういうところを、例えば今の竜山石をPRしていこうと考えています、これが一つですという形で行かせていただくと、より具体的に進めようとしてるように私たちも思えると思うので、高砂市の魅力のどこを他市に発信していこうとしているのか。特産物、今、かつめし加古川に負けてますよね、私昔から子供の時は、かつめしは高砂だと思ったんですよ。他に何でしょう柏餅ですかね。今、何を計画されているのか少し教えていただけたらと思います。

○会長

食べ物から、先ほどおっしゃっていただいたように文化、生活に密着するようなものっていうのが結構出てきております。同時に、高砂の場合はお祭りも生活に関わりますね。それからある意味文化財、伝統的なものも含めて入っています。そのあたり、ご質問の趣旨をご理解いただいた上でご説明いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

○事務局

健康文化室です。高砂市の魅力の発信というところですけど、なかなか高砂市の魅力の発信は何だというところで、ちょっと目立たないところもあるんですが、今高砂市ホームページの方で、いろんな方面からの魅力ということで、魅力発信観光サイトというホームページの方で、高砂市ってどんなところとか、グルメですね。朝食べたり遊んだり出かけるのはどこに行きますかとか、そういうような高砂市に住んでみませんか、文化歴史というようにところで観光発信サイトというところでまとめて、ホームページの方で魅力の発信はさせていただいております。こちらの方も、皆さんの方に周知されてるかどうかというのは、まだ今のところこれからというところもあるんですが、これからじっくりと高砂市の魅力を発信していきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

○会長

何か一つを発信するというよりも、全体的に高砂が住みやすい街であるということですね。それは文化面も含めてそうだとするところをちゃんと発信していただくことは、この文化振興

審議会からとしてはお願いをしたいということです。確かに町の魅力はいろいろありますが、文化的な魅力もあるということはしっかりと発信していただきたいというお願いだろうかと思いますのでよろしくお願ひいたします。

他いかがでしょうか、まだご発言いただいていない方からお願ひします。

○委員

10 ページの、131-35 の施設見学ですが、エコクリーンピアのことは市内 10 校小学校どの学校も環境の学習などで利用できるというのはよく考えているんですが、令和 5 年度、高砂市内の小学校が何校ぐらいエコクリーンピアの方に見学に行っているのか教えていただきたいと思ひます。

○会長

令和 5 年度ですね、もし数字おわかりであればお願ひいたします。まだ、もしくは予定というのものもあるかもしれないですが、途中ですからそこも含めてご回答いただけますか。

○事務局

事務局でございます。先日、エコクリーンピアはりまの方に行かせていただひいて、市内の小学校 4 年生の学年は見学に行っておられるということで伺っています。

○委員

私は高砂小学校ですけれども、4 年生が見学に行かせていただきました。しかし、山陽電車沿線の学校は電車使ったり歩いて行ける学校もありますので、行きやすいかと思ひんですけれども、昨年度、阿弥陀小学校に勤めておりまして、阿弥陀小学校や米田小学校であったり山手の方にある学校の子どもたちは、エコクリーンピアの方に行く交通手段がなかなかないと思ひんです。他市町から来られる学校は多分バスで、校外学習型で何かとタイアップしてやっておられると思ひんですけれども、市内の学校でもなかなかそこまでできている学校はないと思ひんですが、やはり市内の施設であるので市内の小学校全校が見学できるような環境を整えていただくことはできないのかなというふうにお願ひして質問させていただきました。以上です。

○会長

ありがとうございます。

○事務局

そのようなお話が実は議会の方でもありまして、答弁はさせていただいたんですが、本当にそれは課題ではあるというふうには認識していますが、いろんな優先順位の中ですぐにはできないというところです。ただ、エコクリーンピアははじめ来年度は高砂市役所も見てもらおう。それから消防署、いろんなところを見てもらえるようにやっていきたいと思います。議員さんからもなぜ市役所を見てもらわないんだというご指摘もいただひいています。エコクリーンピアも素晴らしいでしょう、もっと見学するべきでしょうというご意見をいただひいています。ですので、教育委員会としても、そこはしっかりと考えていかなければいけないというところは認識していますので、また課題とさせていただきます。以上です。

○委員

ありがとうございます。市役所であったり消防署であったりそういうところいずれにしても多分、浜手の学校は行きやすいけれども山手の学校は行きにくいというのがあると思ひますので、善処していただけたらと思ひます。以上です。

○会長

ありがとうございます。教育だけでなく先ほどから出ているいわゆるまちの魅力、シビックプライドと呼ばれるものですが、それを醸成するという立場からも全校生徒にというふう

なご意見があったということはある意味、議会に対しても投資になるかと思いますのでぜひともよろしく願いいたします。

他いかがでしょうか。

○副会長

13 ページの夢の代補助金の件なんですが、今回市制 70 周年ということで補助金は例えば 50 万円のとときに 3 回という制限があるんですけど、そのカウントには入らないということですね。

○会長

もし今お答えいただければ助かります。

○事務局

数のカウントがどうなのかというところまでは、把握ができていないのでまた後日回答させていただきます。(数はカウントに入らないと後程確認)

○副会長

それから、2 点目ですが、21 ページの部活動指導を外部の講師に委託するという件ですが、実は茶道部とか、華道部の話がよく出てくるんですけど、本来の話は何かと言えば、運動部の部活の顧問がとんでもない超過勤務をしてるから、そこを何とか外部講師をとという話がかなり今メインになってるんですけども、その辺の高砂市における進捗状況はどうでしょうか。

○事務局

運動部の方も外部指導の教師が、その顧問になっている部活に専門性が必ずしも高いわけではなくて、そういったところで助けていただくところが一つと、働き方改革というところもあって、手伝っていただいているんですけども、先ほども申しあげましたようにハンドボールですとかバスケットボール、水泳、ソフトテニス、そういったところで市の予算で部活動外部講師というところで助けていただいています。それに加えて今年度から国の方も進めていることですが、部活動の休日の地域移行というところが徐々にスタートしておりまして、高砂市におきましても実証研究を実施しており、今年度すでに 2 回サッカー部において休日に外部の方に協力いただいているというところで、それで成果や課題を検証していつて次年度以降につなげていこうというところなんです。これについては、すぐに整備されて受け皿を用意というところはなかなか難しいですけど、少しずつ進めていかなければいけないところです。これについては運動部も文化部も同様に、今後進めていくというようなことで考えておりますけれど、本当にゆっくりなペースでスタートしているところです。

○副会長

外部講師は教育現場にいるときに必ず講習を受けるという前提があるんですけど、それも高砂はもちろんそういう格好でされてるわけですね。

○事務局

はい。学校行事で予算を置かせていただくようにして報酬ということで進めています。

○会長

ありがとうございました。

○委員

PR ということで最近スマホにどんどん高砂市の情報も入ってきて、住んでいる住所自体が高砂の中心部といいますか旧の高砂の町からは山を越えて離れてるものですから、なかなか実際の生活の中では感じないんですけど、次々とお店が開かれたり、交通事故の情報も入ってきますし、そういった意味で日頃高砂市に住んでいながらやはり職場と地域だけのことで高砂全体のことが見えにくい。ですが、そういうふうに情報が入ってくる高砂の町の辺りは盛んにな

ってきたんだと、うれしくはなっております。ただ、私ども、文化連盟として出席をさせていただいてるんですが、文化連盟のホームページの方では活動写真を載せて案内などもしていただいているんですが、もう少し日々の活動の状態も何かPRしていただけたら本当に嬉しいなというふうに思います。例えば先生、今日ご出席いただいてこれからご尽力いただきたいと思えますけれど、高校ですので市というよりは県教委或いは県の方をお願いしないといけないことだと思いますけれども、松陽高校の方でご紹介をいたしまして生徒会の方がもうすごく頑張ってくださいって、先生も本当に無報酬でこの夏の暑い中もそうですし今もそうなんですよ。今度、12月に加古川のアオハルフェスとか、いろんなところに和太鼓で出演をさせていただくようになっています。生徒たち非常に頑張っています。高砂といえばまず高砂のジャズ、それしか出てこないんですが、他にも高校生いるんですよ。高校生ですからいろんな地域から来ますけれど、やっぱり地元活性化で今度曾根の公民館がなくなって、交流センターができると。そこでもオープニングで演奏していただくことになってるんですね。でも実際問題地域の方々と密接に関わってきていると思いますので、そういうこともどんどんスマホの方でも発信していただけると非常にうれしいなと思っております。地域で頑張って無償で頑張ってくださいって方たくさんいらっしゃいますので、お願いいたします。

○会長

ありがとうございます。最初の議論に戻りますが、どうPRするかということのあり方の一つのヒントをいただいたかなというふうには思います。もちろん大々的な宣伝というものもあるわけですけど、今のネット社会だと、日々の情報発信っていうのがコストを繋いで関心を伝えていくというのは大事だということもありますので、委員がおっしゃっていただいたところは重要なことなんです。もう一つ、キーワードは人に焦点当ててはどうか、委員からのご提案で、人にも焦点を当ててはどうかというご意見もありましたので、これはヒントになるのかなというふうには思いました。ありがとうございました。

○委員

高砂のPRで考えていくというのはどうしても歴史的なこと、史跡のことというふうに、もちろんものすごく重要で貴重なものがあると思うんですけども、実際に若い生徒たちと接してありましたらみんな、そんな死んではるやんと言います。実際のところの接触感というか、高砂の偉人さんと言われてもわからない、いつの人ですかという感じなんです。谷村真司先生の「いい日旅ち」、いい曲でしょうと言っても、知らないと言います。坂本九さんの曲が教科書の載っているのですが聞いたことがない。もう全然時代が違うのを感じさせられるんですよ。今後高砂を担っていく若い子たちの今の状況を、我々知らないといけないと思うわけです。ですからもちろん市役所も見に来ていただいて、いろんなどころ見に来ていただくのはいいんですけど、本当に今の小学生・中学生・高校生がどのように育っているのかをできるだけ知っていくようにしないとイケないなと思っております。

○会長

ありがとうございました。委員お願いします。

○委員

さっき高砂の魅力って言われたんですけど、あるんですよ。もう何百年も前から、今、謡曲うたいましたけど、発想の転換で謡曲は謡曲でもずっと継承されていかなければならない曲なんですけれども、他の県では、一つの民謡を専門家の人が踊りを振り付けして、それも子どもさん、学生、大人、そういうふうな三つに分かれた振り付けをしてまちおこしをしています。だから、民謡という今では若い子どもさんたちはもう全然知らない人がいっぱいいますけれど、謡曲は大体耳にしているんです。結婚式だったら「高砂や」うたってるんですけど、それをロック調にしたりして、そういうふうな曲を若者向けにしたら踊りはできる。その先で歴史は学べるということで、私は昔から思っていたんです。あれをロック調にしたら、子供も大人も楽しめるんじゃないかなといつもそう思ってたんですよ。だから、古いのは古いので確かに

大事にしないといけないですけど、そういうことで若者を引きつけるというか。そういう専門家の作曲家さんに高砂市のお金で作ってもらったらどうかと私は思ってるんです。そして、それが大きくなったら高砂町の本町通りの辺で練り踊るような情景が私は浮かんでくるんです。

○会長

ありがとうございました。

○委員

先ほど委員の意見と、委員の、豊かさをもうちょっとアピールしたらどうかということなんですけども、商工会議所といたしましては謡曲高砂を全面的に押し出す、宣伝するのは難しいなということで、「高砂じめ」を作りました。宴会や何か会の後に「高砂じめ」でアピールしていこうということで、東京や大阪、名古屋にもあるように、高砂にも「高砂じめ」があってもいいのではないかとということで考えましたので、僭越ですけど最後の締めでさせていただきますと思います。

○会長

ありがとうございます。

○委員

北浜町なんですけれども、町の役員さんたち非常に頑張ってくださいまして11月25日の土曜日に北浜祭りをいたします。和太鼓の演奏、それからフラダンス、私どもトランペットとピアノ、フルートなんですけど、それにベース、ドラムが入りまして、ジャズからいろんなものを演奏いたします。最後には高砂音頭を皆さんで踊ることにしております。本当にいろんな町の役員さんの方々、非常に頑張っておられるというのが本当につくづくわかっておりまして、そういう方々のおかげで本当に小さなお子さんからおじいちゃんおばあちゃんまで、触れ合う機会も作っていただいておりますし、12月にはクリスマスコンサートもさせていただきます。だからそういう地域の活動は大事だとつくづく思っております。

○会長

ありがとうございます。いろんなアイディアが出たと思いますし、今事業計画の中に先ほどの北浜町なんかの部分についても、どう宣伝していくのかということで行政も力を入れないといけないところもありますし、高砂音頭みたいところで、本来市がもっとPRしないといけない部分も出てきておりますので、こういうようなご意見は大変貴重だというふうに思います。

それから先ほど委員がおっしゃったお話ですけど、一番大事なのはやはり謡曲高砂にあるストーリーをどういうふうに使っていくのかということで、その表現形式はいろいろあるでしょうが、もともとはこの町はブライダルシティという形で本来そのストーリーを使っていたはずなんです。その辺りうまく繋がっていないところの問題もあろうかと思いましたが今日お話を聞いて、どういうふうに応用していくのかというのは、いろんな方法があるということのご表現だと思っております。

委員、よろしく願いいたします。

○委員

色々なご意見を聞かせていただいてありがとうございます。
資料1の112-02です。子供狂言ワークショップが、幼稚園などいろんなところであるようですが、教科書などをみると中学校の2・3年の頃に能を習うようになっているので、実際のものを見せてあげられたらとても効果的ではないかと思えます。もちろん幼稚園、保育園の子供たちも大事ですが、中学生の子供たちに本物を見せてあげられたら、とても効果的ではないかと思えます。

それから、もう一つお願いできるならば、委員にお声がけいただいて、市役所のホールコンサートに出演させていただいたのですが、ホールにピアノがないので合唱団によってはピアノ

を持ち込める団はいいのですが、キーボードなど持っていない団は出演できません。そのようになってしまうと不公平感ができてしまうような気がしますので、できることならば、ホールにピアノを置いていただければ嬉しいです。

それから、謡曲「高砂」や「高砂音頭」も大切だと思うのですが、「高砂市歌」が端っこに追いやられているような気がします。私が子供の頃は「高砂市歌」を歌うことができる子どもがいっぱいでしたが、今では先生でさえ知らない人が多いと思います。夕方に流れている音楽が「高砂市歌」だということも知らない方がほとんどで、暗い音楽が流れていると言われたりすることがあります。高砂市少年少女合唱団では、入団した際は必ず最初は「高砂市歌」から始めることにしています。小学生の頃から「高砂市歌」を歌えたら大きくなっても歌えると思うので、学校でもご指導いただければ良いかなと思います。

○会長

ありがとうございました。前回、高砂市歌を変えたらどうですかというご提案も実は出まして、高砂市歌についてそういう関心を持ってるところですので、今日も改めておっしゃっていただきまして大変助かりました。

それから興味深いご提案として例えば狂言ワークショップ、子どもたちが対象ですけど、例えば中学校などの日本の歴史で能などを学ぶときに見せたらどうかという、これは、例えば市民性教育といいますか別途教育をするんじゃなく歴史や国語の分野の中で養っていく。その市民性の中で実は地域のこととか、シビックプライドと呼ばれる地域を誇りに思うことも歴史の中で学ぶときに、実は高砂に舞台があるというのは本当に重要な市民性教育になっていくところだと思いますし町を豊かにしていく部分だと思いますので、大変興味深いご提案だと思います。すぐにできるかどうかはわかりかねますが、非常に興味深いご提案だと思います。

いろいろありがとうございました。

もし何かこれだけは言いたいということがありましたら、どうぞ。

○委員

資料2の1ページ、委員が3番で高砂工場バスツアーということで、カネカ、三菱重工とかの見学はどうかということで書いておられますけれど、これについて高砂商工会議所は第1回が三菱重工、第2回がカネカ、第3回目が神戸製鋼で工場説明をやってもらって、非常に盛況過ぎて会員だけでいっぱいになっているんですけど、これをもうちょっと広げて一般の人にも聞いてもらえるようにできたらと思っています。

○会長

はい、ありがとうございました他よろしいでしょうか。

では、事務局に一旦お返しして、最後委員に締めてもらいますので、まず事務局からその他についてご説明いただけますでしょうか。

○事務局

事務局でございます。

委員の皆様から貴重なご意見いただきまして、ありがとうございました。今後も事業進めていく中で参考にさせていただければと思います。本日はありがとうございました。

それでは、今後のスケジュールにつきましてご説明をさせていただきます。今年度につきましては今回で文化振興審議会は終了という形になります。次回につきましては、来年の夏頃に第1回の文化振興審議会を予定しております。令和6年度の第1回の文化振興審議会につきましては、令和5年度の事業の結果のご報告と令和6年度の事業予定を取りまとめたものを事前に皆様にお示しをした上でご意見をいただきたいと考えております。

また本日、回答ができなかった内容につきましては取りまとめたものを事前にお示しをいたしまして、ご意見をちょうだいしたいと考えております。開催日程につきましては後日調整させていただきます。以上でございます。

○会長

本年はこれで終わりということでございます。本当にどうもありがとうございました。
一旦議事を終わりましたので進行事務局にお返ししますので、よろしく願いいたします。

○司会

それでは、副会長から最後の挨拶をお願いします。

○副会長

みなさんご苦労様でした。

文化スポーツ課と協議させてもらって、来年度が市制70周年ということで、9月8日に県の民俗芸能祭 in 高砂を実施させていただくことになりました。兵庫の人形浄瑠璃とか、いろんな兵庫県の中のすぐれた特色のある文化を見ていただいて、また指導することによって見た人たちが自分たちの力に気が付くというか、そういうことがあれば嬉しいかなと思っています。皆さんで協力し合ってやっていく文化の筋道になりますので、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。以上です。

○司会

ありがとうございました。

それでは最後に、委員、「高砂じめ」をお願いします。
(高砂じめ)

○司会

ありがとうございました。

それではこれにて閉会いたします。皆様お気をつけてお帰りください。